

連携先世界遺産： 醍醐寺 写真展開催と僧侶の衣

前年度受講生企画の写真展を開催し、
今年度オリジナルの企画として「五大力さん」に向けて僧侶の衣について勉強

■ 受講生

新海 裕之（龍谷大学・社会学部・4年生）

■ メンター（過年度受講生のうちスタッフとして雇用する者）

玉田 遼河（龍谷大学・社会学部・4年生）

■ 担当教員

笠井 賢紀（龍谷大学・社会学部・非常勤講師）

活動目的・概要

本科目では、(1)昨年度受講生立案の企画実施、(2)本年度受講生のオリジナル企画の2点に取り組んでいます。例年は企画の前に調査手法等を習得しましたが、今年度はPBLに則りproject-basedで都度必要な内容を学ぶ方式としました。

(1)昨年度受講生立案の企画は写真展の開催でしたが、準備不足により年度内に実施できないまま解散しました。醍醐寺や地域社会に協力いただいていたこともあり、メンバーが変更されても実施すべきと考えられました。そこで、昨年度受講生に取材し写真展を実施しました。

(2)オリジナル企画は、受講生（新海さん）が「僧侶がふだん着ている作務衣が気になる」というとを出发点に考え始めました。2月23日の「五大力尊仁王会（五大力さん）」では多様な服装の僧侶を目にすることになりますが、当日に向けて何らかの展示をしようとする作務衣に限らず僧侶の服装について学んでいます。



◆ 主な活動

- ・ シラバスに従い年間30回の講義
- ・ 別途、醍醐寺や龍谷大学で取材
- ・ 写真展 7月15日～8月11日
「変わらないもの、
変わったもの、
変えたもの」
(醍醐寺霊宝館にて)

活動の成果

写真展「変わらないもの、変わったもの、変えたもの」

昨年度の受講生が、期間中の台風被災における醍醐寺の対応に感銘を受け写真展を企画しました。準備不足が重なり、五大力さんでも桜の花見シーズンにも開催が間に合いませんでした。

昨年度受講生に取材し、そのコンセプトや掛ける思いを丁寧に汲み取った上で今年度の受講生・メンターが写真展を開催しました。

開催にあたっては醍醐寺霊宝館の展示スペースを借用し、「醍醐寺町石一石に込められた人々の祈り―」（龍谷大学）と同一会期で共同開催しました。

会期中は新旧受講生が会場で来場者の声を聴きました。



僧侶の衣についての学習

醍醐寺の僧侶たちはいろいろな服装をされています。法要などで身に着ける僧侶の衣体だけを見ても、大衣、七条、五条と複数の種類があり、色やそれぞれの服装の際の持ち物にも種類があるようです。

加えて、修験装束や、日常の用務に当たる際の改良服、作務服もあります。また、袈裟には首からかける折五条のようなものもあり奥深い世界です。

現在のところ、僧侶からレクチャーを受けるとともに専門書をかじって基本を学んでいるところです。奥が深い衣の世界だけに、つまみ食いの受け売りにならないような伝達の方法に工夫を凝らす必要があります。

2月23日の五大力さんの日に何らかの形で来場者の方たちと醍醐寺の衣の世界に触れていただける展示を実現したいと思います。



活動を振り返って

今年度の前半期では、昨年度の受講生の企画を引き継ぐ形で写真展を行いました。「変わらないもの 変わったもの 変えたもの」というコンセプトの共有から始まり、受講生が少ない中で昨年の経験値、視点を共有することができ学びを深めることができました。また実際の写真展の場では、来訪者の声を直接聞くことができる良い機会になりました。醍醐寺に来る目的は参拝だけではなく、観光、勉強、巡礼など人によって多様な目的があり、お寺の存在価値の多様さに気付かされました。

今年度の後半期では僧侶の衣・袈裟について学習を行なっています。これまでの学習でお寺の行事や行事で担当する位によって服装の色や形、その素材も変わってくるということが分かりました。僧侶の服装の歴史を学ぶことによってお寺の役職についても更に興味を持つことができました。

(新海)

担当教員からのコメント

担当教員（笠井）が他大学に転籍したため不開講が危惧されましたが醍醐寺と龍谷大学の厚意により本年度に限って継続での開講が叶いました。5年度目の今年度で私の担当する科目としては最後になります。

最終年度であり、これまでの集大成をと考えていましたが残念ながら受講生は登録2名実質1名に留まり、過年度5-15人で推移してきた本科目としては逆境でした。とはいえ、1名の受講生はメンターと手を取り合って昨年度受講生の積み残した企画を実現するなど、よく頑張ってくれました。

メンターを置く等の工夫をしたものの、年度ごとの断絶が気になっていたところ、最終年度にしてそうした縦のつながりができたのは嬉しいことです。また、30名近くの本科目受講生がLINEグループでつながっています。閉講後も醍醐寺や京都で学ぶ大学生活があったことを彼らは大事にしていくことと思われ、醍醐寺と明日の京都文化遺産プラットフォーム、大学コンソーシアム京都の協力・助言を得ることで、微力ながら趣旨に沿った授業運営を実現できたと自己評価しています。

活動資料

変わらないもの
変わったもの
変えたもの

京都世界遺産 PBL
醍醐寺×鎌倉大学

2018年9月台風21号被災

変わったもの

醍醐寺の今昔写真

大玄門

西大門

変わらないもの

醍醐寺の今昔写真

金堂

五重塔

弁天堂

変わらないもの

五大力尊仁王会

変わらないもの

醍醐寺周辺の今昔写真

1. 老人ホーム同和園村近

2. 西浦見成公園付近

3. 旧奈良街道 醍醐寺前

醍醐寺周辺地域の変化

醍醐寺周辺の今昔写真

4. 京都市立醍醐小学校正門

5. 旧奈良街道沿い 醍醐和泉町

6. 泉大橋

醍醐寺周辺地域の変化

醍醐寺周辺の今昔写真

7. 堀山から善願寺を望む

8. 小西瓦産業敷地内

9. 同敷地内から元権山コースを望む

醍醐寺周辺地域の変化